

## 情報処理学会デジタルプラクティス

### 特集号論文募集

# 「3D プリンタがもたらす、革新的ものづくりによる新たな世界」

● ● ▶ 〔投稿締切〕 2015 年 5 月 7 日 (木) 17 : 00 ◀ ● ●

本特集では 3D プリンタに関連した、著者ご自身のプラクティスにもとづく論文を募集します。

近年、急速な発展を遂げている 3D プリンタは、ものづくりの現場に革新をもたらすとともに、一般ユーザによる利用にまで広がりを見せており、今後の産業・ビジネスの発展に大きな期待が寄せられています。3D プリンタの積層・造形技術、ものづくりの現場、医療、食料品、建築など様々な分野での利活用、さらには一般ユーザに至るまで、3D プリンタに関わる幅広いエコシステム全体を活性化し、新たな産業の創出や、既存産業に革新をもたらすためには、みなさんのプラクティスを共有していくことが不可欠と考えます。

そこで、本特集では、3D プリンタ自体の開発、たとえば光造形技術や金属積層造形技術等から、3D プリンタの様々な分野での応用、および関連するビジネス等に関して、苦労した点や工夫した点等々、具体的な活用事例とそこで得られた知見（プラクティス）を論文として募集したいと考えます。

- 3D プリンタや印刷素材の開発に関わるプラクティス
  - ・ 光造形技術や金属積層造形技術の開発
  - ・ 印刷方式の工夫や、印刷素材の選択 等々
- 3D プリンタの応用に関わるプラクティス
  - ・ 医療・介護・ヘルスケア分野における利用
  - ・ 食料品分野における利用
  - ・ 教育、エンターテインメント等の分野における利用
  - ・ その他の応用分野における利用
- 3D プリンタにおけるデータの共有や知財に関わるプラクティス
  - ・ データの登録・提供をクラウド等で行うサービス
  - ・ 二次著作物に関する知財の取り扱い等に関する知見

などがありますが、もちろんこれらに限ったものではありません。

多くの皆様からの投稿をお待ちしております。



※投稿要領：Web サイトをご覧ください→ <http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0701s.html>（応募資格は問いません）

※掲載号：2016 年 1 月号 (Vol.7 No.1)

※特集エディタ：安斎正博（芝浦工大）

※特集号編集委員：編集委員長：平田圭二（はこだて未来大学）

編集委員：青山幹雄（南山大学）、赤津雅晴（日立製作所）、伊藤 智（産業技術総合研究所）、位野木万里（工学院大学）、浦本直彦（日本 IBM）、海老原吉晶（オムロン）、黒橋禎夫（京都大学）、齋藤正史（三菱電機）、澤谷由里子（早稲田大学）、住田一男（東芝）、谷口倫一郎（九州大学）、中野美由紀（芝浦工業大学）、中村祐一（日本 IBM）、平木 敬（東京大学）、平山雅之（日本大学）、福島俊一（NEC）、富士 仁（NTT）、藤瀬哲朗（三菱総研）、藤原陽子（日本 IBM）、峯松信明（東京大学）  
アドバイザー：喜連川優（国立情報学研究所・東京大学）

## IPSI メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 25,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）  
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 50,000 円（税込 54,000 円）※3 社限定  
フッタ：1 回 20,000 円（税込 21,600 円）  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]  
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■  
開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00  
会場：○○コンベンションセンター  
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。  
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

## Web サイトバナーについて

本会では Web サイト内 (<http://www.ipsj.or.jp>) に載せるバナー広告を募集しています。当サイトへ広告を載せることで、本会会員または情報処理に興味のある方々に強くアピールすることができます。ぜひ本会 Web サイトへのバナー広告掲載をご検討ください。

- トップページアクセス数：約 30,000 件/月
- サイズ・ファイル形式：幅 200×高さ 38 ピクセル JPEG もしくは GIF 形式 ※リンク先 URL もご指定ください。
- 見 本：

インターネットフォーラム  
開設中!

- 掲載期間：1 カ月単位の契約となります。ご希望掲載期間をお知らせください。
- 掲 載 料：トップページ：50,000 円/月（税込 54,000 円）  
その他のページ：30,000 円/月（税込 32,400 円）  
※本会賛助会員の企業広告および賛助会員が主催する会議については、上記料金より 20%割引になります。
- 注意事項：アニメーションを含むバナーはご遠慮ください。  
広告の内容が大幅に変更された場合は、下記照会先にご連絡ください。
- 照会/申込先：  
[広告代理店]  
アドコム・メディア（株）E-mail:sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519  
または 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8371

# 会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「新年特別企画：人類とICTの未来：シンギュラリティまで30年？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■これまで Singularity は、コンピュータが人間を追い越すときという単純な捉え方でしたが、遺伝子工学、ナノマシン、ロボットが関係する『産業革命』以上の大変革になると理解しました。それまでに適切な社会制度を設計しないと、コンピュータ・インフラの違い等から知的財産の独占や貧富の二極化など社会の歪みが極限まで増大されていくのではないかと、Singularity 到達以前の状況にも不安を感じます。(匿名希望)

■シンギュラリティが30年後に起きると聞けば、その結果に興味は湧くとともに不安も感じるが、2人のSF作家によるシンギュラリティの捉え方は新鮮だった。(稲本 康)

■学会維持のために会誌を購読しているのが実態だが、この特集は、何を論ずるのかに興味を覚えて、ついつい最後まで読んでしまった。(若島陸夫)

■シンギュラリティの到来予測が2045年というのは先すぎると思う。ゲノムとかビッグデータとかの話は日常的にしていると多分、10年もかからないのではという気がする。当たり前の話だ。ただし、人間がそれを認めることができていない。多分、2045年というのは、認知される時かもしれない。それでも、遅すぎる。人間の心の準備ができていないだけだとすれば、かなり痛い話である。(石井一夫)

■記事間で重複するお話が何度かあったのでもう少し整理された方が読みやすかったと思いました。(匿名希望)

■多角的に記事が組まれていて非常に良かったです。さらにビブリオ・トークとも連動しているのが秀逸でした。(匿名希望)

■シンギュラリティ自体に馴染みが薄いこともあるが、全体的に分かりにくい印象を受けた。(江原康生)

■どの記事も面白く、またいろいろなジャンルの方の記事があり、良かった。(匿名希望)

「7.3 シンギュラリティ：微動だにせず」

■人工知能というものが自分の頭の中でもやもやっとなしていましたが、新しい切り口を与えられました。(中島隆夫)

「7.5 シンギュラリティへ向けてあなたと私はどうしたいか？」

■自分が「どうしたいか？」を考えてしまった。(酒井保良)

特集「分野を超えたものづくりと教育」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■この特集を通じて、ESS, MDD, PBL は必須のキーワードだが、ESS が何の略記か明示されていなかった。3つ目の記事の冒頭に「本会組み込みシステムシンポジウム(ESS)」という記述があるが、案内記事の冒頭でESS が何の略記か明示していれば、本特集の理解度が格段に上がったと考える。(牛島和夫)

「6. 制御工学から見たソフトウェア」

■特集の中での役割を果たしているのか疑問。(酒井保良)

「7. ロボットチャレンジ課題を用いた機械学習応用教育」

■紙数が短いために、紹介されている個別学習例の内容を具体的にフォローできなかった。(牛島和夫)

「8. ロボット PBL を学部導入教材として活用する」

■PBL の教育実践を簡潔に分かりやすく報告されたことに敬意を表する。特に表-3 のアンケート結果は参考になる資料だ。(牛島和夫)

特別鼎談「編集長3人は語り尽くせなかった」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■熱意がとても伝わってきました。会誌にも論文誌にもますます期待したいと思いました。(匿名希望)

■編集側の思いが分かって良かった。(匿名希望)

■単なる雑談に終わってしまっている気がする。(匿名希望)

連載「古機巡礼/二進伝心：オーラルヒストリー：天羽浩平氏インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■当時のコンピュータ開発についてあまり知らなかつ

たので、オーラルヒストリーは興味深かったです。  
(匿名希望)

連載「会誌編集委員会女子部」については、以下のようなご意見・感想をいただきました

■少なくとも女性会員が会誌への親しみを増す効果は十分あると思います。  
(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のような感想をお寄せいただきました。

■今号は、多くの方が短い内容で記載されていたので、読みやすかったです。一方、深い内容まで語りできなかったような印象を感じました。テーマ自体は興味深く、勉強になりました。  
(匿名希望)

■ICTという言葉が海外では一般的とは知りませんでした。確かにコミュニケーションが大切ですね。  
(高木 淳)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■シンギュラリティについて、全国大会か本誌上で有識者討論会をしてほしい気がします。  
(酒井保良)

■大学をはじめとする高等教育で、グローバル人材の養成が強く求められている。グローバル人材を養成する一環として、国際バカロレアに基づくカリキュラム

の策定も必要とされている。高等教育における情報教育と国際バカロレアとのかわり方について取り扱う実証的な論考を期待します。  
(水野光朗)

■初等教育におけるプログラミング教育の是非について取り上げていただけたらと思います。  
(匿名希望)

■「《連載：古機巡礼/二進伝心》オーラルヒストリー」のような記事を読むと、日本国内だけでもなんとかやっていけるのではないかという気になりますが、現実にはもはやそういう時代ではなく、そういう意味でもう少し最近の話をに入れていただけないかという気がします。あと、誌面に余裕がある場合は写真を大きくしてほしいです。  
(柴田直樹)

■今後の希望テーマとしては関数型プログラミングがある。  
(匿名希望)

■ソフトウェアを高速化する技術について、ハードウェア、ソフトウェア両面の視点から解説いただけると助かります。  
(菅野純一)



【本欄担当 中島 悠, 東本崇仁/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。  
会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、  
・記事に対する感想、意見 ・記事テーマの提案 ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言  
・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言  
など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。  
なお、「道しるべ」については  
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で  
これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。  
※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。  
  
掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。  
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>  
  
応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail : [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



# IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	東海支部平成26年度学生論文奨励賞募集案内 <a href="http://www.ipsj-tokai.jp/">http://www.ipsj-tokai.jp/</a>	3月15日(日)		
	論文誌「スマートコミュニティ実現のための高度交通システムとモバイル通信」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-C.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-C.html</a>	3月27日(金)		
	論文誌「創造する時代のコラボレーション支援とネットワークサービス」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-D.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-D.html</a>	4月1日(水)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-E.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-E.html</a>	5月7日(木)		
	デジタルプラクティス「3Dプリンタがもたらす、革新的ものづくりによる新たな世界」特集論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0701s.html">http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0701s.html</a>	5月7日(木)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-F.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-F.html</a>	5月11日(月)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-H.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-H.html</a>	5月11日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文募集 <a href="https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-J.html">https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/16-J.html</a>	6月19日(金)		
3月17日(火)～	情報処理学会 第77回全国大会	講演申込登録	事前予約申込登録	京都大学
3月19日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/</a>	11月21日(金) 19:00	2月20日(金)	吉田キャンパス
3月18日(水)	国際AIプログラミングコンテスト SamurAI Coding 2014-15 World Final <a href="http://samuraicoding.info/">http://samuraicoding.info/</a>			京都大学 吉田キャンパス
3月20日(金)	第41回バイオ情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio41.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio41.html</a>	1月30日(金)	当日のみ	北海道大学
3月20日(金)	第179回知能システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics179.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics179.html</a>	2月9日(月)	当日のみ	名古屋工業大学
3月21日(土)～	第129回コンピュータと教育研究発表会	1月29日(木)	当日のみ	筑波大学
3月22日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce129.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce129.html</a>			東京キャンパス
3月28日(土)	JABEE 審査講習会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/accreditation/JABEE201503.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/accreditation/JABEE201503.html</a>		定員になり次第	早稲田大学 西早稲田キャンパス
3月30日(月)～	第118回情報基礎とアクセス技術・第97回デジタルドキュメント	2月9日(月)	当日のみ	東洋大学
3月31日(火)	合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat118dd97.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat118dd97.html</a>			白山キャンパス
5月11日(月)～	第46回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会	3月13日(金)	当日のみ	名古屋大学
5月12日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi46.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi46.html</a>			東山キャンパス
5月14日(木)	第171回システムとLSIの設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm171.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm171.html</a>	3月11日(水)	当日のみ	北九州国際会議場
5月18日(月)～	第197回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	3月20日(金)	当日のみ	日本科学未来館
5月19日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim197.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim197.html</a>			
5月19日(火)～	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム			東京大学
5月20日(木)	<a href="http://hpcs.hpcc.jp/">http://hpcs.hpcc.jp/</a>			武田先端ビル
7月27日(月)～	第18回画像の認識・理解シンポジウム		当日可	ホテル阪急エキスポパーク
7月30日(木)	<a href="http://cvim.ipsj.or.jp/MIRU2015/">http://cvim.ipsj.or.jp/MIRU2015/</a>			
8月3日(月)～	第12回ネットワーク生態学シンポジウム		定員になり次第	静岡県伊東市
8月4日(火)	<a href="http://www.neteco.jp/symposium/201508/">http://www.neteco.jp/symposium/201508/</a>			山喜旅館
8月3日(月)～	2015年度教員免許更新講習		定員になり次第	東京大学駒場地区
8月5日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html</a>			
9月15日(火)～	FIT2015 第14回情報科学技術フォーラム	査読付き論文: 4月15日(水)		愛媛大学
9月17日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/</a>	一般論文: 5月21日(木)		城北キャンパス
12月26日(土)～	2015年度教員免許更新講習(冬)		2015/7/16以降に	京都大学
12月27日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU2015.html</a>		詳細案内予定	

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2016年				
3月10日(木)～	情報処理学会 第78回全国大会			慶應義塾大学
3月12日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/78/</a>			矢上キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 2月20日 [プレスリリース] ジュニア会員制度を開始します
- 2月16日 論文誌「組込みシステム工学」特集 論文募集
- 2月16日 論文誌「ソフトウェア工学」特集 論文募集
- 2月15日 人材募集情報 (Vol.56 No.3)
- 2月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.56 No.3)
- 2月10日 デジタルプラクティス「3Dプリンタがもたらす、革新的なものづくりによる新たな世界」特集論文募集
- 2月2日 2015年度役員改選の投票について
- 2月2日 2015年度代表会員の選出について
- 2月2日 2015年2月3日(火)に開催される「ソフトウェアジャパン 2015・メインセッション」をニコニコ生放送で生中継いたします



フォロー・  
リツイート  
お願いします

◎twitter で情報発信中!

情報処理学会ツイッター➤ @IPSJcom

- ソフトウェア工学研究会➤ @IPSJ\_SIGSE
- ハイパフォーマンスコンピューティング研究会➤ @HpcCommittee
- ヒューマンコンピュータインタラクション研究会➤ @ipsj\_sighci
- 情報基礎とアクセス技術研究会➤ @sigifat
- オーディオビジュアル複合情報処理研究会➤ @ipsj\_avm
- モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会➤ @ipsj\_sigmbi
- インターネットと運用技術研究会➤ @IPSJ\_SIGIOT
- 自然言語処理研究会➤ #signl
- コンピュータと教育研究会➤ @ipsjce
- 音楽情報科学研究会➤ @ipsj\_sigmus
- エンタテインメントコンピューティング研究会➤ @ipsj\_sigec
- バイオ情報学研究会➤ @sigbiojapan



いいね!・  
シェア  
お願いします

◎Facebook で情報発信中!

情報処理学会ページ [www.facebook.com/IPSJcom](http://www.facebook.com/IPSJcom)

- 計算機アーキテクチャ研究会 [www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/](http://www.facebook.com/groups/ipsj.sigarc/)
- システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会 [www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/](http://www.facebook.com/groups/ipsj.sigos/)
- モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会 [www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL](http://www.facebook.com/IPSJ.SIG.MBL)
- インターネットと運用技術研究会 [www.facebook.com/ipsjiot](http://www.facebook.com/ipsjiot)
- コンシューマ・デバイス&システム研究会 [www.facebook.com/sig.cds](http://www.facebook.com/sig.cds)
- 電子化知的財産・社会基盤研究会 [www.facebook.com/eipjp](http://www.facebook.com/eipjp)
- 会員の力を社会につなげる研究グループ [www.facebook.com/ssr.ipsj](http://www.facebook.com/ssr.ipsj)

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

**\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

### ■自然科学研究機構国立天文台

募集人員 年俸制職員（特任専門員） 各1名  
 募集職種 1. アルマプロジェクトのデータ解析関連ソフト開発・改良およびシステム管理・運用担当  
 所 属 チリ観測所（三鷹）  
 着任時期 2015年6月1日  
 提出書類 (1)履歴書、(2)ソフトウェア開発や計算機に関するこれまでの経験・実績を含め、抱負をまとめた文章（A4用紙2枚程度）、(3)迅速に連絡がとれる連絡先（E-mailアドレス、電話番号）  
 応募締切 2015年3月25日 日本時間12時（必着）  
 送付先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 チリ観測所長 長谷川哲夫  
 「年俸制職員特任専門員（チリ観測所計算機）応募」と明記  
 照会先 チリ観測所 小杉城治 E-mail: george.kosugi@nao.ac.jp  
 \*問合せの電子メールのヘッダは"nenpousei tokunin inquiry"としてください  
 その他 仕事内容、応募資格などの詳細な募集情報は、国立天文台およびチリ観測所の採用情報にありますので必ずご覧ください  
<http://www.nao.ac.jp/about-naoj/recruit.html>, <http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/recruit/index.html>  
 また、ALMA プロジェクトについては下記を参照してください  
<http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/>, <http://www.almaobservatory.org/>

### ■岡山大学大学院自然科学研究科

募集人員 准教授 1名（任期なし）  
 所 属 産業創成工学専攻情報通信システム学講座（学部では工学部電気通信系学科通信ネットワークコース）  
 専門分野 分散システム、無線ネットワーク、最適化アルゴリズムなど  
 担当科目 大学院および学部教育として情報・通信・ネットワーク関連の科目を担当できること。その他の教養教育科目および専門教育科目も担当していただくことがあります  
 応募資格 (1)博士の学位を有すること、(2)教育ならびに研究に意欲的であること、(3)学部および大学院での教育・研究指導ができること、(4)外国語による講義を行うことができる能力を有すること  
 着任時期 2015年9月1日以降のできる限り早い時期  
 提出書類 Web ページ ([http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo\\_index.html](http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html)) に記載  
 (1)履歴書、(2)学会および社会における活動、(3)教育に関する経歴書、(4)研究業績概要書、(5)研究業績目録、(6)論文・著書などの別刷、(7)着任後の研究計画、(8)教育に対する抱負、(9)応募者についての推薦書2通または推薦できる方2名以上の連絡先、(10)その他、選考の参考となる資料  
 応募締切 2015年4月24日（必着）  
 送付先/照会先 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻 教授 船曳信生  
 E-mail: funabiki@okayama-u.ac.jp Tel(086)251-8147 「情報通信システム学講座教員応募書類在中」と朱書き簡易書留  
 その他 詳細はWeb ページ ([http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo\\_index.html](http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html)) でご確認ください

## ■東京都市大学メディア情報学部情報システム学科

- 募集人員 教授、准教授または講師 1名(教授または准教授：任期なし、講師：原則として3年、再任用2年を限度とする。ただし、任期期間中の業績により、任期なしの専任教員として採用する場合あり)
- 専門分野 メディア処理技術応用(画像生成・可視化、画像と音の融合・人工現実感等体感理解・ロボットなどを用いたコミュニケーションシステム)
- 担当科目 コンピュータグラフィクス、可視化技法、マルチメディア情報処理、プログラミング、情報リテラシー等の科目、大学院講義(メディア情報処理技術)、事例研究、卒業研究
- 応募資格 (1)博士の学位あるいは同等の資格等を有し、大学院博士前期(修士)課程において授業担当教員となれる方、(2)画像・映像・音などの情報処理を通して利用者側の観点に立って人に優しい人間調和型情報システムについて教育・研究のできる方、(3)メディア情報学部情報システム学科の理系の教育研究活動に理解があり、学生の指導・教育に熱意がある方
- 着任時期 2015年9月1日
- 提出書類 (1)履歴書(学会歴、社会歴、受賞歴含む)、(2)研究業績リスト(1.著書、2.査読付き学術論文、3.査読なし学術論文、4.依頼論文、5.国際会議発表論文、6.紀要、7.予稿あり研究発表、8.予稿なし研究発表、9.その他に分類の上、新しいものから順に記載してください)、(3)主要論文の概要(5編、各200字から400字程度で様式不問、別刷またはコピーを各1部添付)、(4)研究費の導入実績(文部科学省科研費その他：ある場合)、(5)応募理由および採用後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2~3枚程度)、(6)照会可能な推薦者2名：推薦者の氏名、連絡先、所属および応募者との関係を記入、書式は随意
- 応募締切 2015年5月7日(必着)
- 送付先/照会先 〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1 東京都市大学メディア情報学部情報システム学科  
教授 八木伸行 E-mail: yagi@tcu.ac.jp Tel(045)910-2934 Fax(045)910-2935
- その他 詳細については、必ずWebページ(<http://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/index.html>)を参照ください

## ■名古屋大学大学院情報科学研究科

- 募集人員 教授 1名
- 所属 計算機数理科学専攻計算論講座
- 専門分野 計算機科学にバックグラウンドを持ちその数理的側面に関する研究分野(たとえば機械学習・アルゴリズム理論・暗号理論など)
- 担当科目 大学院情報科学研究科 アルゴリズム特論、工学部 アルゴリズムとデータ構造・離散数学
- 応募資格 博士の学位を有すること
- 着任時期 2015年10月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト、(3)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、(4)これまでの研究内容と今後の研究計画、(5)教育に関する実績と抱負、(6)その他、受賞、特許、学会および社会活動、研究費取得実績など、(7)応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先  
詳細は本学Webページ(<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)に記載
- 応募締切 2015年5月29日(必着)
- 送付先/照会先 〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院情報科学研究科 計算機数理科学専攻長 松原 洋  
E-mail: yom@is.nagoya-u.ac.jp 「計算機数理科学専攻教員応募書類在中」と朱書し簡易書留
- その他 選考の過程で講演をお願いすることがあります  
本学では採用に際して男女共同参画に配慮しております



## FIT2015 講演募集案内 第 14 回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2015/>

【会期】2015 年 9 月 15 日 (火) ~17 日 (木)

【会場】愛媛大学 城北キャンパス (松山市)

【テーマ】「ICT による日本再生」

情報処理学会 (IPSJ) と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ (ISS) 並びにヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) とは、2002 年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2015 年 9 月には第 14 回目を愛媛大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式に捉われずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

### 論文誌への道!

#### 「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込みと合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2015 年 6 月 19 日 (金) に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用して是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

#### 【FIT 論文表彰制度】

FIT には、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**FIT ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度がありますが、FIT2013 よりこれに加えて **FIT 奨励賞**を新たに創設致しました。

皆様、是非ともチャレンジして下さい。

<b>船井ベストペーパー賞</b>	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文 <b>3 件</b> を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2015 会期中) にて <b>賞金 20 万円</b> を船井情報科学振興財団より贈呈。
<b>FIT 論文賞</b>	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 <b>7 件程度</b> を選定。受賞論文には、表彰式 (FIT2015 会期中) にて <b>賞金 5 万円</b> を FIT 運営委員会より贈呈。
<b>FIT ヤングリサーチャー賞</b>	発表件数の 1.5%を上限として、2015 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者 (査読付き論文及び一般論文) を対象に優れた発表を選定。受賞者には <b>賞金 3 万円</b> を次回の FIT2016 の表彰式にて FIT 運営委員会より贈呈。
<b>FIT 奨励賞</b>	一般発表のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を 1 件その場で選定 (該当なしもあり)。受賞者には、当該 FIT 終了後に賞状を FIT 運営委員会より贈呈。

※いずれの賞も、情報処理学会または電子情報通信学会の会員であること

#### 【申込みの方法・注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2015 Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数などの制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

#### 【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

#### FIT 査読付き論文 (4~8 ページ程度)

#### FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6~8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います (一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野 (研究会) の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い (研究会違い) と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト (即不採録) され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 6】 FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) でページ数が 6 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野 (査読受け入れ研究会) がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

#### ■ 申込主要日程

登録申込 / 投稿受付開始 : 2015 年 3 月 4 日 (水)

登録申込締切 / 査読用原稿の投稿締切

: 2015 年 4 月 15 日 (水)

査読の採否結果通知 : 2015 年 6 月 19 日 (金)

論文誌への推薦可否結果通知 (推薦希望者のみ)

: 2015 年 6 月 19 日 (金)

最終原稿投稿締切 : 2013 年 6 月 29 日 (月)

#### FIT 一般論文 (2~8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2~8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

#### ■ 申込主要日程

登録申込 / 投稿受付開始 : 2015 年 4 月 22 日 (水)

登録申込締切 : 2015 年 5 月 21 日 (木)

最終原稿投稿締切 : 2015 年 6 月 29 日 (月)

#### 【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、情報処理学会と電子情報通信学会 (情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ) の研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下ようになります。

☆は情報処理学会、※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループを示します。

**FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。**

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会 (研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
  - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
  - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
  - A-3 ☆プログラミング(PRO)
  - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
  - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
  - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
  - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
  - B-4 ☆ドキュメントコミュニケーション(DC)
  - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
  - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
  - C-1 ☆システムと LSI の設計技術(SLDM)
  - C-2 ☆システム・アーキテクチャ(ARC)
  - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
  - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
  - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング (DC)
  - C-6 ※リコンフィギュラブルシステム(RECONF)
  - C-7 ※再生可能集積システム(RIS)
- D:データベース
  - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
  - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
  - D-3 ※データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
  - E-1 ☆自然言語処理(NL)
  - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
  - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
  - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
  - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
  - F-1 ☆知能システム(ICS)
  - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
  - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
  - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
  - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
  - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
  - G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)
  - G-4 ※医用画像(MI)
- H:画像認識・メディア理解
  - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
  - H-2 ※パターン認識・メディア理解 (PRMU)
- I:グラフィクス・画像
  - I-1 ☆グラフィクスと CAD(CG)
  - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
  - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
  - I-4 ☆デジタルコンテンツクリエイション(DCC)
  - I-5 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
  - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
  - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
  - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
  - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
  - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
  - J-6 ◇ヒューマンプロンプト(HPB)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
  - K-1 ※教育工学(ET)
  - K-2 ※サイバーワールド(CW)
  - K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
  - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
  - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
  - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
  - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
  - L-3 ☆セキュリティ心理学とトラスト(SPT)
  - L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
  - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
  - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
  - M-3 ☆モバイルコンピューティングとパーベイシブシステム(MBL)
  - M-4 ☆高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)
  - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)

- M-6 ☆コンシューマ・デバイス&システム(CDS)
- N:教育・人文科学
  - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)
  - N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
  - N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
  - N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)
- O:情報システム
  - O-1 ☆情報システムと社会環境 (IS)
  - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
  - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
  - O-4 ※サービスコンピューティング時限(SC)
  - O-5 ※減災情報システム時限(DRIS)

**〔使用言語〕**

日本語または英語

**〔論文ページ数・講演時間〕**

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度  
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度  
 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度  
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 4,000 円のページチャージ  
 講演時間: 1件 20 分(発表時間 15 分、質疑時間 5 分)

**〔講演使用機器〕**

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとします。PC は各自持参をお願いします。

**〔講演者の資格〕**

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI) または電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEIE、APSIPA、ECIT、IEEE/ComSoc、KICS、VDE/ITG、KIEES、CIC、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS、KIISE) の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

**〔講演参加費 (税込み)〕**

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	12,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員 (社会人)	24,000 円
学生非会員	12,000 円

**〔エキストラページ費用 (税込み)〕**

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。  
 エキストラページ費: 1 ページ当り 4,000 円

**〔別刷代 (FIT 査読付き論文の採択者のみ) (税込み)〕**

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷 (100 部) を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無に関わらず 22,000 円となります。

**〔講演者予稿分冊頒布〕**

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り 9,000 円で講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 13,000 円、団体購入の場合 16,000 円となります。

**〔最新情報確認のお願い〕**

FIT2015 に関する最新情報は、FIT2015Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ，1/2ページ または1/4ページ	(主催・共催)	
			1ページ	50,000円(税込54,000円)
			1/2ページ	30,000円(税込32,400円)
			1/4ページ	20,000円(税込21,600円)
			(協賛)	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000円(税込21,600円)
			賛助会員（企業）	30,000円(税込32,400円)
			賛助会員以外の企業	50,000円(税込54,000円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金4,000円(税込4,320円)で同一内容を本会Webページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。  
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
 \* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月15日を締切日とし，翌月号（15日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

会誌「情報処理」

デジタルプラクティス **無料**

# Newsstandで 購読ができる ようになりました！

会誌「情報処理」と「デジタルプラクティス」が  
 Apple Newsstandで購読ができるようになりました！  
 NewsstandはiPad, iPhone, iPod TouchなどのiOSに  
 プリインストールされている本棚です。

学会誌  
 日本初！



会誌

- 月単位の購入が可能です。
- 購入前に立ち読みができますので、ぜひいちどおためしください。
- 年間購読で12,400円（1冊あたり約1,000円）でお得です。  
 1カ月：1,700円 / 6カ月：9,400円 / 1年：12,400円

DP

- 「デジタルプラクティス」は会員・非会員を問わず、どなたでも**無料**でお読みいただけます。
- DPアプリを一度ダウンロードすれば、最新号が自動で送られてきます。

年間購読  
 でお得！！

購読  
 無料！！



まわりの方にも  
 ご紹介ください！

アプリのダウンロードはこちら（無料）

会誌「情報処理」



<https://itunes.apple.com/us/app/yue-kan-qing-bao-chu-li-qing/id910830137?l=ja&ls=1&mt=8>

デジタルプラクティス



<https://itunes.apple.com/jp/app/qing-bao-chu-li-xue-huidejitarupurakutisu/id923233022?mt=8>

## 会員サービスのご案内

会員の皆様の特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<https://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

### ◆ ホテル（5～53%割引）

JR ホテルグループ、グランビスタホテル&リゾート、ダイワロイヤルホテルズ、東急ホテルズ、阪急阪神第一ホテルグループ、ホテル法華クラブ、プリンスホテル、都ホテルズ&リゾート、FUJIYAMA 倶楽部、ウィクリーマンション東京

### ◆ レンタカー（最大 55%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、タイムズカーレンタル

### ◆ パック旅行（3～5%割引）

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光

### ◆ UC 丸善アカデミックカード（10%割引）

### ◆ パーシティウェブ コンピュータソフト（教育機関所属の方はアカデミック価格で）

## ㊦㊦ 協力協定学会との正会員会費相互割引について ㊦㊦

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。  
本会 Web ページ（<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>）にも掲載しております。

### ● 協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%

※ 協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体（<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>）をご参照いただき、直接お問い合わせください。

### ● 本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム（<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>）

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は 1 学会分といたします。

※ これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）（[https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai\\_sei.html](https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html)）をご確認ください。

■ 照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375



CONTENTS

**Preface**

**Confront with "News" in the Social Media Era"**  
Yoshio ITO (Yahoo! JAPAN)

**Special Features**

**Use of ICT in Primary and Secondary Education**

- 314 **0. Foreword**  
Shimpei TOYOFUKU (Center for Global Communications, International Univ. of Japan) and Eriko UEMATSU (Musashino Gakuin Univ.)
- 316 **1. Why ICT Use in Japanese Schools are Retarded? for Policy Conversion to Learner-centered Use of ICT**  
Shimpei TOYOFUKU (Center for Global Communications, International Univ. of Japan)
- 322 **2. Media Literacy Instruction in ICT Education**  
Eriko UEMATSU (Musashino Gakuin Univ.)
- 327 **3. ICT Utilization Out of Classroom - Informatization of School Administration, School Public Relations -**  
Hiroyuki MATSUMOTO (Center for Global Communications, International Univ. of Japan)
- 331 **4. Current Status and Issues of Overseas ICT in Education - Focusing on the Comparison of South Korea and Japan -**  
Kyubok CHO (KERIS (Korea Education and Research Information Service))
- 337 **5. Information Study Education for "ICT in Education"**  
Takeo TATSUMI (The Open Univ. of Japan) and Yasushi KUNO (Univ. of Tsukuba)
- 342 **6. ICT Utilization Education Column in the Elementary School of Takeo-shi, Saga**  
Susumu NAKASHIMA (Takeo City Mifunegaoka Elementary School)
- 344 **7. Re-Design of Classroom Environment for Learning**  
Noriyuki KOIKE (WAKO Sr. High School)
- 348 **8. K12 Programming Class Activities Designed by a Non-Expert Citizen**  
Naomi KATSUNUMA (Midorikko-club)
- 350 **9. Creative Activities of Children by ICT Utilization**  
Kazuhiro ABE (Aoyama Gakuin Univ. / Tsuda College)
- 355 **10. Social Networking Service and ICT Education**  
Takahiro HAGA (Gifu Shotoku Gakuen Univ.) and Akimasa TAKENAKA (Kyoto Koka Junior and Senior High School)
- 360 **11. Programming Education and Presentation Conference for Elementary and Junior High School Students**  
Yuichiro SAITO (Tento Inc.)

**Special Features**

**My University Days - To Whom Taking the First Step towards the New World -**

- 363 **0. Foreword**  
Itaru NISHIZAWA (Hitachi, Ltd.)
- 364 **1. Let Your Curiosity Fly**  
Yuki ARASE (Osaka Univ.)
- 364 **2. My Unexpected Carrier**  
Yukihiro ITOH (Shizuoka Univ.)
- 365 **3. Working Abroad as a Student Intern**  
Takeo IGARASHI (The Univ. of Tokyo)
- 366 **4. Days of Mathematics and Programming**  
Yuki IGARASHI (Univ. of Tsukuba / JSPS)
- 366 **5. To Challenge to Innovation in Technology You must Challenge to Yourself!**  
Yukiko KAWAI (Kyoto Sangyo Univ.)
- 367 **6. Design Your Life so that You will Feel Happy When You Get Old and Remind**  
Masaru KITSUREGAWA (National Institute of Informatics / The Univ. of Tokyo)

- 368 **7. Continue Learning While Working**  
Hideko S. KUNII (Shibaura Institute of Technology)
- 368 **8. Let's Open up the Future through the Power of Technologies**  
Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))
- 369 **9. Craving for Intellectuality**  
Shunsuke SARUWATARI (Shizuoka Univ.)
- 370 **10. Research Activity Supported by Experience as a Puzzle Creatory**  
Yu SASAKI (NTT Secure Platform Labs.)
- 370 **11. Finding Yourself**  
Kazuyuki SHUDO (Tokyo Institute of Technology)
- 371 **12. Fallacy of "Rationality"**  
Shigeru CHIBA (The Univ. of Tokyo)
- 372 **13. Let's Go One Step Further!**  
Masashi TSUCHIDA (Hitachi, Ltd.)
- 372 **14. Outcome Image of Your Research**  
Miwako DOI (National Institute of Information and Communications Technology)
- 373 **15. I Spent 12 Years in the University**  
Hideyuki NAKASHIMA (Future Univ. Hakodate)
- 374 **16. The Need for Teamwork**  
Toru NISHIKAWA (Preferred Infrastructure, Inc. / Preferred Networks, Inc.)
- 374 **17. My Starting Point : Rhythm between Language and the Body**  
Mayumi BONO (National Institute of Informatics)
- 375 **18. Since My Undergraduate Days**  
Takashi MASUDA (Funai Foundation for Information Technology)
- 376 **19. Are the Dots Connected?**  
Hiroshi MARUYAMA (Research Organization of Information and Systems)
- 377 **20. Research, Papers and Technological Innovation**  
Yasuko MATSUBARA (Kumamoto Univ.)
- 377 **21. From Researcher to Research Producer**  
Yusuke YAMAMOTO (Kyoto Univ.)
- 378 **22. Looking Back on My School Days**  
Rieko YAMAMOTO (Fujitsu Labs. Ltd.)
- 379 **23. I Still Need a lot of Trial and Error**  
Chiemi WATANABE (Univ. of Tsukuba)

**Articles**

- 380 **DNS Vulnerabilities and Countermeasures**  
Kazunori FUJIWARA (Japan Registry Services Co., Ltd.)
- 386 **Latest Situation around 3D Printer**  
Shuichi YAMAGUCHI (MICROJET Corp. / 3D-Printer Research Institute)

**Special Article**

- 402 **What Happened to Google Glass, and Where It Goes**  
Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)

**Senior Column : Messages on Favorite IT**

- 362 **Shall We Stop Using the PowerPoint?**  
Koichi HORI (The Univ. of Tokyo)

**Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's**

- 394 **Oral History : Interview with Yoshio MIYAGI**  
Hiroharu ASAHII (Hitachi, Ltd.), Takayuki NAGATA (National Museum of Nature and Science, Hiroshi HATTA (OKI Consulting Solutions Co., Ltd.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

- 406 **Biblio Talk**
- 408 **The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**
- 409 **Conference Report**



【特集：仮想化時代の情報セキュリティと運用技術】

- 特集「仮想化時代の情報セキュリティと運用技術」の編集にあたって 櫻田武嗣
- HTML5 技術を用いた仮想通信網における遠隔印刷手法の提案と評価 鈴木新一 他
- 障害原因解析における構成情報の統計的推論方式 坂下幸徳 他
- 電子メール優先配送システムにおける信頼できる MTA から送られた迷惑メールへの対策 ガーダ 他
- 同一サブネットにおいて利用者の位置情報を判別可能なロケーションフリーネットワークシステム 大隅淑弘 他
- Web 認証ネットワークにおける NAT を経由する端末のアクセス禁止機能の開発 末永光弘 他
- Checkpointing an Operating System using a Parapass-through Hypervisor Yoshihiro Oyama 他
- 文字認識攻撃に耐性をもつランダム妨害図形を用いた画像ベース CAPTCHA 方式の提案 田村拓己 他

【特集：学生・若手研究者論文】

- 特集「学生・若手研究者論文」の編集にあたって 岡部寿男
- Enhancing Memcached by Caching Its Data and Functionalities at Network Interface Eric S. Fukuda 他
- A Toolchain for Dynamic Function Off-load on CPU-FPGA Platforms Takaaki Miyajima 他
- キーワードのあいまい一致を導入したキーワードプログラミングシステム 坂本悠輔 他
- DePoT: Web アプリケーションテストにおけるテストコード自動生成テストフレームワーク 坂本一憲 他
- RkNN Query on Road Network Distances Yutaka Ohsawa 他
- A Fast Computation of  $3 \times 3$  Matrix Exponentials and its Application in CG Kohei Matsushita 他
- ショッピングモール型 EC サイトにおける店舗情報視覚化システムの提案 大河原一輝 他
- 屋内位置検出を利用した子ども見守りサービスシステム 木村峻介 他
- 屋内電気系統センシングを用いた電化製品が利用されているコンセントの推定手法 孔 全 他
- 高精度時刻同期を分散処理制御に活用したタイムアウェア処理方式 堤 智昭 他
- 文書型マルウェアに対するエントロピーとエミュレーションを用いたシェルコード特定方法 岩本一樹 他
- 鍵交換プロトコルにおける推論的形式分析手法 程 京徳 他
- 拠点横断分析による IP 使い捨て型ブルートフォース攻撃の検知とその抽出手法 本多聡美 他
- DNS アンプ攻撃の事前対策へ向けた DNS ハニーポットとダークネットの相関分析 牧田大佑 他
- 情報システム・サービスの利用者の安心感と納得感の要因に関する調査 奥村香保里 他
- 音楽理論 GTTM に基づく議論タイムスパン木の生成方式とその評価 三浦寛也 他
- 手書き変体仮名認識における単語の接続関係を用いた解の絞り込み 渡辺 悟 他
- Low-Complexity Exploration in Utility Hypergraphs Rafik Hadfi 他

- 日中对訳文を用いた同義対訳専門用語の同定手法 宇津呂武仁 他
- 一般ユーザの観点に基づく Twitter からの人物関係の可視化と事例の考察 西村章宏 他
- 語釈文を用いた小学生のための語彙平易化 梶原智之 他
- 合成音声への自然なポーズ挿入のための音声の自然性に影響を与えるポーズ位置に関する要因の分析と評価 武藤博子 他
- 種々のテキスト検索モデルの頑健性向上による音声ドキュメント検索の高精度化 北岡教英 他
- Compressing Inverted Index Using Optimal FastPFOR Dominic S 他
- 評点付きレビュー文書を対象としたトピックモデルの構築に関する検討 田村一樹 他
- ラリーシーンに着目した映像自動要約によるラケットスポーツ動画鑑賞システム 河村俊哉 他
- Web ブラウザにおけるビジュアルモデルの高速描画法の開発 松村哲郎 他
- 粒子シミュレーションによる水汚れ画像生成システム 遠藤結城 他
- 回転するディスプレイに表示される顔画像の注視方向知覚に関する研究 川口一画 他
- 映像対話型行動支援における頻出パターンに基づいたコミュニケーションの分析 小泉敬寛 他
- A Predictive Model to Evaluate Students Performance Shaymaa E. Sorour 他
- クラウドソーシングにおける会話をういた応答用例対作成手法の提案 山本里美 他
- 知的照明システムにおける線形計画法を用いた照明制御アルゴリズム 池上久典 他
- デジタルアーカイブ化されるオープン型コンテンツの権利処理において残存あるいは生成されるパブリシティ権の限界 栗原佑介 他

【一般論文】

- Combining Local Channel Selection with Routing Metrics in Multi-channel Wireless Mesh Networks Hiromichi Kanaoka 他
- 密なモバイルセンサネットワークにおけるセンサデータの傍受とダイアグラムを用いた効率的な境界線検出手法\* 松尾和哉 他
- アプリ毎のトラフィックとユーザの利用状況を考慮したスマートフォンの通信制御手法\* 高木 雅 他
- Performance Evaluation of Synchronous Variable-Multiple Collision Avoidance Systems Kaoru Sano 他
- ヒューマンコンピューテーションにおける非負値行列因子分解を用いたタスク割り当て手法の提案\* 巻口誉宗 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



## 論文誌トランザクション掲載論文リスト (Mar. 2015)

### 【論文誌 教育とコンピュータ Vol.1 No.2】

- 識字教育としてのプログラミング 大岩 元
- コミュニケーションスキル獲得を促すソフトウェア技術者教育の試行 斎藤祐一郎 他
- 小学生に対するアンブラグドコンピュータサイエンス指導プログラムの実践と評価 石塚丈晴 他



### 【論文誌 コンピューティングシステム Vol.8 No.1】

- ゲスト OS 軽量化のためのストレージ仮想化手法 追川修一
- Improvement of Hierarchical Matrices with Adaptive Cross Approximation for Large-scale Simulation Akihiro Ida 他
- 高エネルギー効率ルーティングバイパス法 (EERB) による省電力 NoC 成子貴洋 他
- クラウド環境におけるキャッシュ利用効率向上を目的としたメモリスケジューラの提案 田島幸恵 他
- 粗粒度な電圧ドメインを持つメニーコアプロセッサ向け低消費電力化タスクスケジューリング 和田康孝 他



### 【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.5 No.2】

- Phorec : Context-Aware Photography Support System based on Social Data Analysis Amornpashara Nuttapoom 他



### 【論文誌 データベース Vol.8 No.1】

- An XSLT Transformation Method for Distributed XML Hiroki Mizumoto 他
- ソーシャルメディア上から収集したジオタグに基づく地理的特徴の抽出と評価 大森雅己 他
- 地域情報提供サービスのための行動目的抽出 横山法子 他

- 多メディア間話題探索のための時系列画像3次元可視化システム 伊藤正彦 他
- HHMM 変換を用いた左非循環 PCFG の高速推論 若林 啓
- レーザプロファイラデータを考慮した河川空間の3次元モデル構築手法に関する研究 川野浩平 他
- Apache Hive を用いたスケーラブルな機械学習機構の構築 油井 誠 他



### 【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.8 No.1】

- Performance Evaluation of Index-Less Indexed Flash Codes for Non-Uniform Write Operations Yuichi Kaji
- カテゴリ標本特徴空間を用いた高速スパース最小自乗サポートベクトルマシン 北村拓也 他
- グラフカットを用いた骨髄腔画像の領域分割 宇佐見潤 他
- 錐制約部分空間法における正常データの確率密度推定に基づく異常検出 山崎優大 他
- 不完全情報ゲームにおける適応的モンテカルロ木探索手法の提案 大佐賀猛 他
- フーリエスペクトル特性を考慮した進化型多目的最適化による少数投影の再構成 長舟和馬 他
- Bayesian Image Restoration for Poisson Corrupted Image using a Latent Variational Method with Gaussian MRF Hayaru Shouno
- 活字データの分類を用いた進化計算による近代書籍からのルビ除去 粟津妙華 他
- 都道府県の類似例規の抽出と応用 竹中要一 他
- ウィンドウ遷移ログを用いた従業員のユーザー行動モデルの時系列変化分析 齋藤良平
- 医用検体搬送システムの処理性能解析—検体経路のばらつきとの関係— 兒玉隆一郎 他



研究会が  
たくさんあるなあ

自分に合った  
分野が見つかりそう

入会して発表会に  
参加しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます。

# 会員募集中!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail: mem@ipsj.or.jp

# ご意見をお寄せください！

【4月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. ( ) -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- (10) 今月号（2015年4月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[ a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない ]

巻頭コラム：ソーシャル時代の「ニュース」と格闘する.....	10-1- [ ]
特集：初等中等教育における ICT の活用	
1. 日本の学校教育情報化はなぜ停滞するのか .....	10-2- [ ]
2. ICT 教育におけるメディアリテラシー教育 .....	10-3- [ ]
3. 教室以外の場面での ICT 活用 .....	10-4- [ ]
4. 海外における ICT 活用教育 .....	10-5- [ ]
5. 情報教育と ICT 活用教育 .....	10-6- [ ]
6. 佐賀県武雄市の小学校における ICT 活用教育 .....	10-7- [ ]
7. 「学び」の場をリデザインする .....	10-8- [ ]
8. 素人がプログラミング学習環境を作ってみた .....	10-9- [ ]
9. 子どもの創造的活動と ICT 活用 .....	10-10- [ ]
10. ネットワークコミュニティと ICT 活用教育.....	10-11- [ ]
11. 子どもによるプレゼン大会とプログラミング学習 .....	10-12- [ ]
IT 好き放題：PowerPoint を使うのをやめてみませんか？ .....	10-13- [ ]
特集：4月号新入生企画：私の大学時代 .....	10-14- [ ]
DNS への攻撃と対策 .....	10-15- [ ]
「3D プリンタ最前線」（後編）.....	10-16- [ ]
古機巡礼/二進伝心：オールヒストリー：宮城嘉男氏インタビュー.....	10-17- [ ]
特別解説：Google Glass はどうなったのか？どうなるのか？.....	10-18- [ ]
ピブリオ・トーク：待ち行列理論の基礎と応用.....	10-19- [ ]
会誌編集委員会女子部.....	10-20- [ ]
会議レポート：CSS2014 参加報告 .....	10-21- [ ]

- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- [11-1] 良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

[12] 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [12-1] 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
 [12-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
 [12-3] 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） ..... 12-3- [ ]  
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

[13] 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- [13-1] 初等中等教育における ICT の活用：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]  
 [13-2] 私の大学時代：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

### ■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
<b>■ 会員サービス部門</b>			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
<b>■ 会誌編集部門</b>			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，論文誌（デジタルプラクティス），DP レポート，著作権
<b>■ 研究部門</b>			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，国際会議，IFIP 委員会
<b>■ 事業部門</b>			
事 業	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続 세미나，プログラミング・シンポジウム
<b>■ 管理部門</b>			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IP SJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
<b>■ 情報規格調査会</b>			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>	

情報処理学会では、会誌の読者アンケートやモニタコメントなどを利用して、「記事を読んでいる方」からの意見を承っている。それを見ると、教育関係の話題を望んでおられない読者の方もおられる。しかし、今回の特集は、ICTの今後の在り方に関する示唆に富んだ内容であるため、教育関係に興味のない方にもぜひ読んでいただきたいと思う。

というのも、今回の特集の記事の多くはICTを利用した教育現場からの報告で構成されている（「情報教育」の話も含んでいる）。特集全体で、ICTが教育現場でどのように活用されているか（および、活用されていないか）が

分かるようになってきている。どの記事も、単なる商品宣伝の記事でもなく、教育学の話題に限定された記事でもない。最新の技術と制度と教育問題のいずれもが含まれるバランスがとれた実践者・研究者らの現場の声が並べられた。

担当エディタとしては、本特集を読まれた方が、学校現場・教育現場における情報技術・情報処理の活用について議論をするきっかけとなることを望むものである。そして、この分野・領域のために新しい活動に取り組んだり、その支援をしてくださるようになることを願うものである。

（辰巳丈夫／本特集エディタ）

本特集は、昨年度の専門委員会の主査からの引継ぎ事項に含まれていました。当初は、大学を卒業されてあまり月日が流れていない若い方数人にQ&A形式での記事執筆をお願いすればよいかと簡単に考えていました。ところが、企画案を作成して編集委員会にかけたところ、「色々な分野、経歴の方々より意見をいただくほうがよい」、「執筆者はもっと多いほうがよい」、「女性の執筆者を増やすほうがよい」、「Q&Aだと読み辛いので読み物の形としていただくほうがよい」、「写真を入れるほうがよい」などの多種多様なコメントをいただきました。正直、これは大変だと思いましたが、読者にとって面白く、かつためになる記事を目指すとの本年度の会誌編集方針に則り、できる限りコメ

ントを反映するよう工夫しました。最終的には男性14名、女性9名の計23名の方々に執筆いただくことができました。多くの原稿に対応するため、8名の編集委員での編集作業を行い、何とか締切に間に合いました。さまざまなキャリア、経験に基づいた貴重なアドバイスが含まれた、良い特集になったと思っています。最後に、ご多忙にもかかわらず原稿作成をお引き受けいただいた執筆者の皆様、企画に関する数々のアドバイスをいただいた会誌編集委員各位、多数の原稿の管理、校正に最後までご尽力いただいた事務局、および専門委員会編集委員各位に、この場を借りて深謝申し上げます。

（西澤 格／本特集エディタ）

### 次号（5月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「小特集」いまさら聞けない！コンピュータの数学

情報系の数学と大学での数学教育／プログラミング言語の数学／数値計算・計算科学の数学／セキュリティの数学／機械学習の数学

#### 「小特集」学会イベント支援

WISSのコミュニケーションを促進する—コミュニティの一員としてのシステム開発—／放送化の時代のプレゼンテーション支援システム／ウェアラブル実況中継システム／テレプレゼンスロボットによる遠隔学会参加の体験報告

解説：再発見されたBSP (Bulk Synchronous Parallel) モデル ..... 松崎公紀 他

教育コーナー：べた語義

連載：古機巡礼／二進伝心／ピブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」56巻4号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース …… 表2                       すべての会社を希望  
 電子情報通信学会 …… 表2対向上

■資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は  
 広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

 **MITSUBISHI  
ELECTRIC**  
*Changes for the Better*

三菱電機 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ピー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

**Google™**

グーグル (株)

 **GREE**

GREE (株)

**NTT docomo**

(株) NTT ドコモ

 **NTT**

日本電信電話 (株)

 **Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**NTT data**

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**楽R天**

楽天 (株)



情報サービス産業協会

**uejima**

(株) うえじま企画

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SONY**

ソニー (株)

**Panasonic**

パナソニック (株)

 **Plat'Home**

ぶらっとホーム (株)